



こうごしま 議会だより

No. 167

平成 28 年 2 月 26 日 発行 / 神津島村議会 編集 / 議会だより編集委員会 ☎ 04992 (8) 0011
議会だより編集委員会 委員長 中村親夫 副委員長 山岸義光 委員 鈴木国忠 委員 清水勝彦
<http://vill.kouzushima.tokyo.jp/> E-mail kouzu@vill.kouzushima.tokyo.jp

● ● ● 村議会傍聴のご案内 ● ● ●

議員の活動や、村政方針及び考え方を知ることが出来る場、それが本議会です。
神津島村議会は皆様の傍聴をお待ちしております



平成 28 年議会現場視察

目 次

- ◇ 平成 27 年第 4 回定例会 (12 月 8、9 日) 2
議員自主研修の報告、契約変更 1 件、条例関係 7 件、補正予算 6 件
- ◇ その他 4
議会コラム、議会現場視察、議会日誌、編集後記

平成27年度第4回定例村議会

平成27年度議員自主研修の報告

1番 山岸義光

テーマは磯焼けです。

現在の、神津島の主幹産業は漁業です。特に金目鯛が主体になっています。島しょ水産総合センターは伊豆諸島が金目鯛の産卵場であると突き止めています。産卵場に必要なのは藻場です。また、幼稚仔魚の保育場としても大切です。多くの水産生物にとって、とても重要なものなのです。その他にも藻場には窒素、燐の吸収による富栄養化の防止や光合成によって二酸化炭素の吸収、酸素の供給（地球温暖化防止に役立つ）、透明度の増加と濁り防止。観光としてはダイビングや生物観察等にもいいです。

そこで全国でいくつかある磯焼け対策が行われている中で、9月28日の講演の「海の森」の再生に向けてのテーマで来島された東京大学海洋アライアンス、山本光夫特任准教授が中心となって、鉄鋼スラグと腐

食物質を使った日本で最初に実証試験している、北海道増毛町に行ってきました。

町役場で堀増毛町長、佐藤町議会議員長、岩崎副議長、古川農林水産課長の歓迎の挨拶を受け、町内を拝見しました。

増毛町は昭和56年高倉健さんの映画、駅・STATIONのロケ地で有名です。甘エビは一年中水揚げがあり、ホタテ、タコも通年。春はニシン、カレイ類、夏はツブ、ウニ、イカ、秋は鮭、ハタハタ、アワビ、冬は、タラ、カジカ。訪れた時には近くの川を遡上する鮭を見ました。また、日本最北の果樹地域でイチゴ、サクランボ、プラム、桃、ブルーベリー、葡萄、洋梨、リンゴが収穫できます。

昼食後、増毛漁協の忠鉢参事の案内で磯焼け対策藻場の現地に向かいました。当初、私と、事務局の佐野君と、同行の渡辺水産係長でゴム長を着用して海に入る予定でしたが、風が強くなり断念しました。でも、防波堤から海岸に降り昆布が玉石に繁茂しているのを見ることができました。その後、

増毛漁業協同組合にて磯焼け対策の説明を聞きました。この実験は、自治体を中心ではなく漁協と企業と大学で行われています。

説明にはわざわざ、今日のために東京から、新日鉄住金（株）の木曾さん、中村さんのお二人が来られました。磯焼けの要因としては、海水温の上昇、ウニや魚類などの植食動物による食害、また栄養塩（窒素、燐）や溶存鉄の不足が挙げられている。その溶存鉄は腐植物質（フミン酸・フルボ酸）によって二価鉄から腐植酸鉄となり海藻へ供給される。材料としては、銑鉄や鋼を作る時に出来る産業副産物の高炉スラグや鉄鋼スラグです。そして腐植物質の原料は木材チップです。説明では増毛での実験の効果は8か月後には海藻の回復が確認されてきたそうです。主な要因は、海水温の低さと海流や干満の差があまりないからだそうです。ただ、増毛以外にも全国約30か所でもいろいろな方法で実験が行われています。近くでは、三宅島です。テングサの増殖実験が平成20年から行われています。海水温や海流のせいで効果の出方には時間が掛かるようですが可能性はあります。

今回、磯焼けの対策方法を

調べることで、いろいろな方法があることがわかりました。

山口県宇部市の杉本さんが考案した使い捨てのカイロの中身を再利用して「鉄炭タンゴ」というものを作り、植物性プラントンの育成を促しています。そしてその団子を使い長門市の県立水産高校で藻場の再生に効果を出しています。

また、仙台気仙沼の畠山重篤さんが、20年前からの漁民による「漁民の森づくり」で植林活動で日本中に広がり、著書で「鉄が地球温暖化を防ぐ」自然界の鉄が海を作っていることを述べています。

先日、神津島の村民の方から、焼酎粕コンクリートのことを聞きました。九州のコンクリート製造会社で製作しているコンクリートブロックが藻場を再生することができるようです。地球温暖化の原因には熱帯雨林の伐採が大きな要因です。日本では割り箸を使うことが多く私たちがその原因ではないでしょうか。私ども神津島でも出来ることから始めることが必要だと思います。

以上、自主研修の報告を終わります。



<増毛漁業協同組合での研修の様子>

◎議案第57号「生きがい健康センター改修工事請負契約の変更」

福祉課長（藤井小百合君） 工事内容の変更。主に外壁タイル張りかえ枚数の変更、防水用シーリング新設、空調用幹線動力分電盤改修を撤去・新設に変更するもの。

4番（中村親夫君） 防水シーリングは一部なのか。また既設動力盤だが、どのような耐久性の問題があったのか。

福祉課長 全体的に撤去して、新たにシーリングを新設する。動力盤についても劣化、塩害等、絶縁等のおそれがあり、新たに新設する。

《原案可決》

◎議案第58号「神津島村税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例」

企画財政課長（鈴木龍也君）

マイナンバー制度の法律の改正に伴い今年度の6月議会で改正した一部をさらに改正するもの。

《原案可決》

◎議案第59号「神津島村個人情報保護条例の一部を改正する条例」

総務課長（清水 豊君）

マイナンバー法の一部が改正されたことに伴う改正。

《原案可決》

◎議案第60号「神津島村職員勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例」

総務課長 地方公務員法の一部が改正されたことに伴い、国に準じて村の条例を改正するもの。

1番（山岸義光君）削除された第2項とはどんなものなのか。

総務課長 「前項の規定の趣旨は、できるだけすみやかに達成されなければならない。」この条文が削除された。

《原案可決》

◎議案第61号「神津島村地域包括支援センターの人員及び

運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」

福祉課長 職員の員数及び人員に関する基準の中に本村の要件に合わない内容があったため、正しい基準内容改正するもの。

《原案可決》

◎議案第62号「神津島村手数料条例の一部を改正する条例」

福祉課長 マイナンバーに関する通知カード及び個人番号カードの再交付手数料を定め、また住民基本台帳法の改正に伴い、住民基本台帳カードの交付手数料を廃止する必要があることから改めるもの。

2番（鈴木国忠君） 各自治体とも同じような料金になっているのか。

福祉課長 統一されている。

《原案可決》

◎議案第63号「神津島村国民健康保険税条例の一部を改正する条例」

福祉課長 低所得者に対する国民健康保険税の軽減措置を見直すもの。

《原案可決》

◎議案第64号「神津島村廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例」

環境衛生課長（桜井隆明君） 集落排水の加入率の促進を図

り、経営の健全化を目指す目的で、し尿くみ取り料の改正を行うもの。

4番 現在の加入率は。

環境衛生課長 現在の加入率は80.3%となっている。

6番 くみ取りによって処理している世帯はどの程度あるのか。

環境衛生課長 加入対象軒数が、おおむね880件。そのうち加入件数が707件。

3番（清水勝彦君） 空家の件だが、戸口までは工事が済んでいるのか。

副村長（中村勝二君） 基本的には宅柵が設置されている。

《原案可決》

◎議案第65号「平成27年度東京都神津島村一般会計補正予算（第3号）」

企画財政課長（鈴木龍也君）

歳入歳出それぞれ2億2千6百46万3000円を減額するもの。

1番 教育費都補助金のオリピック・パラリンピック補助金、スポーツ振興等事業費補助金の内容を。

教育課長（前田幸子君） A L T 外国語指導助手、村民運動会の経費またスポーツ振興関係としてドローンも含んでいる。

3番 職員用住宅改修工事と、地域協力隊事業に係る家屋改

修工事等の説明を。

総務課長 職員用住宅改修工事は11月1日で、内地からの職員の新規採用が1名あり新たな住居が必要となったため。

企画財政課長 地域協力隊活動事業費の家屋改修工事についてだが現在協力隊員3名分、3件を改修している。これは現段階でどの家屋を改修するということふうに特定された金額ではない。集排の未加入世帯であつても対応できるように予算組みをしている。

3番 今後は民間の空家を利用して、職員や住宅に困っている人の対応をしていくことが望まれるのではないかと。

村長（浜川謙夫君） 空家バンクの設立を考えている。少子化対策の面からも、島外からの受け入れをどんどん増やしていくという考えのもとに、今後、部内で整理していく。

6番 選挙管理委員会費の役務費、平成22年9月19日執行村長選村議選補欠選挙運動用薬書郵送費の増額の説明を。

総務課長 村長選、議会の補欠選が同時で行われ、結果的には無投票という結果になったが、運動用のはがきの準備はされており、そのはがき代の請求漏れがあつたことによる増額。

4番 生きがい健康センター 高圧開閉器交換工事の説明を。

福祉課長 高圧開閉器の故障により村内の一部が2時間ほど停電した。この高圧開閉器の交換に伴うもの。

4番 よたね公園整備工事の減額の説明を。

産業観光課長（清水一正君） 次年度に繰り越すため、減額したものの。

4番 低炭素地域づくり設備導入事業費の減額について説明を。

総務課長 事業に係るコストが高く不採択になったためのもの。

村長 再生エネルギー、低炭素の考えは、将来に向かって計画していきたい。

5番 ふるさと納税寄付金の追加だが、何人ぐらいの方からの寄付金なのか。

企画財政課長 昨日までの実績で11名あつた。

2番 精神保健福祉費、給料から職員手当、共済費と減額になっているが理由は。

保健医療課長（土谷文康君） 保健師を3名分子算計上していたが、2名でスタートし、1名辞められたため。

6番 地籍調査費で土地分筆登記等業務委託が計上されているが場所は。

建設課長（石田修治君） 旧ダイハツから都道までの、村道分筆登記に伴う分として計上した。

1番 国民年金事業システム改修委託料だが、当初と同額を追加している理由は。福祉課長 システム改修委託料は消費税引き上げの延期によりなくなつたが、新たに国民年金法改正に伴うシステム改修の必要があり、差額を追加した。

2番 温泉施設費で5号井のポンプ点検だがどのような結果が出ているのか。また4号井の扱いは。産業観光課長 5号井ポンプ点検工事だが1月を予定している。また、4号井については現在は休止している。

6番 海外ホームステイ補助金が計上されているが内容を。教育課長 神津島ライオンズクラブの事業により、神津島の高校生2名をマレーシアへホームステイさせるもの。

議案第66号「平成27年度東京都神津島村簡易水道特別会計補正予算(第2号)」

4番 簡易水道施設非常用電源設備設置設計委託の内容を。環境衛生課長 6号井戸に非常用電源設備を設置するもの。

《原案可決》

《原案可決》

議案第67号「平成27年度東京都神津島村国民健康保険特

別会計補正予算(第3号)

《原案可決》

議案第68号「平成27年度東京都神津島村農業集落排水特別会計補正予算(第2号)」

《原案可決》

議案第69号「平成27年度東京都神津島村介護保険事業特別会計補正予算(第2号)」

《原案可決》

議会コラム

3番 清水勝彦

人口減少社会について考える

日本社会は少子高齢化の影響で、数十年後には人口が半分になると言われています。

私が議員になった26年前、島の人口は2,466人でした。

現在(平成28年1月1日現在)の人口は1,927人に減っています。このままいくと20年後の本村の人口は、1,500人を割り込むことが予想され、歯止めのかかない状態になるのではと心配になります。

本村は出生率が高いものの、島に帰ってくる若者が少なく、当然として高齢化が進む事となります。日本社会の人口が減れば経済規模も、財政規模も全てが縮みます。人口が半分になれば、全てが半分以下とな

議案第70号「平成27年度東京都神津島村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)」

《原案可決》

議会現場視察

平成28年1月8日、毎年恒例の議会現場視察を行い、本年度の村内主要公共工事の現場の視察を行った。

り、今迄のやり方を改める事が出来なければ、自治体ごと破綻してしまいます。勿論、本村も例外ではありません。

問題なのは人口減少そのものではなく、減少する事がわかつているのに、それに対応・対策を考えない事です。何でも従来通りにと保守的になり、変化を怖れ、新たな挑戦をしな

ければ、本来だったら現状維持を出来るはずのものさえ出来なくなると思います。新たな時代に合わせた社会創り・村創りを考えなければなりません。その為には、官・民が協力して「やるか・やれないか」ではなく「やるか・やらないか」が問われるのではないのでしょうか。皆で考え、行動に移しましょう。

議会日誌

平成27年 9月9日 平成27年第3回定例会(10日閉会)

神津島村防災会議

平成27年第3回臨時議会

神津島村敬老会

やすらぎの里敬老会

中学校運動会

ジュリア祭執行委員会

小学校運動会

東京都町村議会議長会先進町視察(石川県・川北町16日まで)

神津島村防災訓練(副議長対応)

村民運動会

ジュリア祭東京会議都庁各局訪問

議会自主研修(北海道・増毛町25日まで)

東京都道路整備事業推進大会

中学校弁論大会

平成27年第3回定例会

会議録署名

平成27年第3回臨時議会

会議録署名

議案だより編集委員会(166号)

佐久市農業祭(7日まで)

離島振興市町村議会議長全国大会

町村議会議長全国大会

東京都町村議会議長会決算監査

神津島商工業まつり物産展

超高速フロードバンド有望活動

平成27年第4回定例会

議会運営委員会

啓 蛰(けいちつ)とは二十四節気の一つであり、啓は「ひらく」、蛰は「土中で冬ごもりしている虫」という意味があります。大地が温まり、冬眠していた虫たちが、春の訪れを感じ、穴から出てくる頃とされています。今年は3月5日がその日になっています。

さて、地域おこし協力隊とは都市地域から人口減少や高齢化の進行が著しい地方に生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。隊員は一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地域産業の開発・販売・PR等の業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図って行くことを目的としており、総務省によって制度化されています。

神津島村には現在3名の隊員の内、1名が観光活性化に向けて活動を開始されています。観光を通じた村おこしを行うための業務は多岐にわたっていますが、隊員にはホームページやブログなどによる地域情報発信を行うなど、ご自身の得意な分野を活かして、活躍されることを期待します。

なお、行政や地域の方も地域協力隊員が活躍できるような環境を提供することも重要である。

- 「議会だより」編集委員会一同
委員長 中村親夫
副委員長 山岸義光
委員 鈴木国彦
委員 清水勝彦

編集後記